

上松・湯谷・滝・城山団地・湯谷団地・箱清水・元善町・東之門町
伊勢町・新町・岩石町・横町・東町・大門町・三輪田町・淀ヶ橋

発行日：令和5年1月1日
発行者：第二地区住民自治協議会



謹賀新年

暮らしの安らぎを願って



この秋は穏やかな好天に恵まれ、久々に紅葉の美しさが心に沁みました。地附山トレッキングのイベントも3年ぶりに再開され、担当者と共に草・木・花の話題で盛り上がり、そして何より子どもさんの元気な歓声に癒されました。

コロナ禍の暮らしも「石の上にも三年」が過ぎ、感染症第8波の状況下でも柔軟に対応する生活様式の定着が進んでいると思われます。石と言えば、善光寺東側高台の通称水内大社の境内には、高さ4.3m、幅2.1mの巨大な「千曲川改修起工碑」が立っています。これは着工翌年の1919年（大正8年）に建立され、改修はなんと23年後の1941年（昭和16年）に完成をみました。東の千曲川に向かってそそり立つ巨大な起工碑に、善光寺平を始め流域に、豊かな恵みと甚大な洪水をもたらす「本州中部の巨流」に立ち向かった先人の初心貫徹の気概を感じます。しかも、石碑の題字が政府中枢で活躍した後藤新平の揮ごうであることも興味深いところです。（写真後方）

私たちが暮らす全16区は、長野市の過去・現在・未来につながる多様なものや、事、そして人が個性豊かに共生しています。第二地区住民自治協議会では、回覧などを通して老若男女全ての皆さんの暮らしの安らぎを願って、福祉・健康・環境・安全・教養・文化などの事業を進め、皆さんの参加を呼びかけております。年頭にあたり上記の目的を実現するため、各地区の役員と共に取り組む所存であります。皆様のご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。



今年度開催の水内大社御柱祭
で建立の御柱を背に

第二地区住民自治協議会 会長 寺島 頼利

大人の社会見学 秋のまち歩き 教養・福祉部会共催

2022年は善光寺御開帳開催。また、戦国武将 真田信之が初代松代藩主となって400年の節目の年です。この記念すべき年に、善光寺とも縁の深い松代町のまち歩きを企画・実施しました。

11月1日、雨が心配される中でしたが、まち歩きの最中は曇り、講座終了と共に雨が降り出し、ギリギリセーフのお天気模様でした。道中は松代文化財ガイドボランティアの馬場さんにポイントごとにご案内いただきながら、山寺常山邸庭園 → 象山神社 → 文武学校 → 旧樋口家住宅 → 真田邸 → 松代城址など、歴史ある建物と道々の紅葉の鮮やかな景色を楽しみながらゆっくりと歩くことができました。

大修理を終えてリニューアルした文武学校では、設立の歴史等のガイド映像を大きな画面で見ることができ、「バーチャル砲術体験」のできる柔術所では、多くの方がゲーム感覚で疑似体験をしていました。昼食には竹風堂で栗おこわをいただき、25名で秋の松代を満喫しながら歴史や文化を学びました。



文武学校前



象山神社 佐久間象山像前



真田邸 入口



真田邸 庭園



真田公園 恩田木工像前

「性の多様性について～誰もが生きやすい世の中へ～」 第二地区人権研修会

令和4年度 教養文化部会での人権研修会を10月21日に性的少数者（LGBT）の当事者でダイバーシティ信州会長の小泉 涼さんを講師に招き開催。LGBTの理解促進に取り組む小泉さんが、「性の多様性について～誰もが生きやすい世の中へ～」と題して話され、第二地区住民自治協議会の役員20人が聴講しました。

小泉さんは、女性として生まれたものの、幼い頃から心と体が一致せず2015年に性別適合手術を受け、16年に戸籍を男性に変更し、現在は茅野市役所に勤務し、LGBT当事者への支援活動などにも力を入れています。

長野県内の動きは、松本市、長野市、伊那市、塩尻市、上伊那郡、飯島町、駒ケ根市の議会が性的少数者「LGBT」らの人権を尊重する施策を求める請願を定例会で採択され

2021年 4月1日「松本市パートナーシップ宣誓制度」開始

2022年 4月1日「駒ケ根市パートナーシップ宣誓制度」開始

2022年 12月1日「長野市パートナーシップ宣誓制度」開始となりました。

尚、令和4年度の人権研修会は、早い時期より、市川指導員、宮澤指導員が「性の多様性について」を提案され、両氏のご尽力で開催されました。より多くの方にLGBTを理解していただく為に、第二地区内5ヶ所と同じ研修会が開催されました。

(教養文化部会 部会長 西澤 茂芳)

LGBTとは

L	レズビアン	同性愛者
G	ゲイ	
B	バイセクシュアル	両性愛者
T	トランスジェンダー	生まれたときの体の性と異なる性生きる人



2回連続 シューマートのウォーキング講座

10月5日、19日と2回連続で「健康は足元から」をテーマに、シューマートのウォーキング講座を城山公民館 第二地区分館で開催しました。

初回はまず1人ずつ足の計測を行い、ご自身の足長・足囲を確認しました。その後シューマート代表取締役 霜田清さんから話を聞きました。

靴選びのポイントとして、脱ぎ履きが楽だからと少し大きめの靴を長時間履き続けていると、足が靴の中で遊んでしまい、痛みや不調の原因になることもあるそうです。

そこで、①かかとがしっかりしている②ひもやマジックテープの靴（靴の幅と甲で足にフィットさせる）③足先が1～1.5cm空いていて、足指が動かせることの3つが上げられました。

また、靴を履くときは腰をかけてかかとをトントンと軽く打ちつけ（左写真内）靴のかかとを合わせてから、ひも

やマジックテープで固定すると靴が足によりフィットして良いそうです。

2回目は会場を城山公園に移し、ポールを使った様々な歩き方の違いを、シューフィッター兼専属指導員の小林 茂美さんのご指導のもと、体験してみました。

歩く時の視線はやや遠く前方に向けると、歩幅が広くなり良い姿勢で歩けることがわかりました。その後、それぞれの歩く姿勢を録画し、画像を見ながら違いを確認しました。

さらに靴選びでは、日本製の靴はプラス1センチで、海外製では、±0で製作しているため、靴の中敷きを出して足に当ててみると良いそうです。人それぞれに足の形や大きさ、足の悩みが異なるため、迷う場合はお近くの店のシューフィッターにご相談くださいとのことでした。

(現在稲田店はシューフィッター不在)



第二地区住民自治協議会 事務局

〒380-0833 長野市大字鶴賀権堂町 2201 番地 20 号 権堂イーストプラザ ND1 階
Tel : 262-1263 (FAX 兼用) E-mail : dainitiku@energy.ocn.ne.jp

【写真掲載承諾済】